

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2016年2月10日(水) No.41

「誕生学」の学習を通して、 思ったことや感じたこと！！

先週の4日(木)5・6限に並川さんをお招きして「誕生学」のお話を聞きましたね。そのお話の中では、奇跡的な確率で受精卵ができ、細胞分裂を繰り返して、お母さんのお腹の中で、どんどん胎児として成長していく様子や誕生の様子についてお話がありました。そういった話を聞き、お父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど周りにいるたくさんの人達から愛され、大切にされて大きく育ってきたことを知ったわけですね。

これらを学習した後、みんなに振り返りを書いてもらいましたが、その感想をいくつか紹介します。

《1組》

*昨日、観た映像とちょっと違うところがあった。人が誕生するまでには大変だし、赤ちゃんが1番最初は0.1mmしかないということを知ってびっくりした。赤ちゃんが育つと、お母さんのお腹がふっくらし過ぎて、ちょっと怖かった。自分ももし妊娠した時のことを想像すると不安しかないけど、大人になったら「うれし泣きしてしまう程うれしくなるのかな」と思いました。

よく分からない事もあったけど、赤ちゃんがどのようにして生まれるのか理解できたし、自分の心と体や、相手の心と体を大事にしていきたいと思いました。

*世界には、私が1人しかいないと聞いて、心が晴れた気がした。いつも、人と比べて自分は全然できていないと思っていたけど、人と比べる必要は無いと言う事がわかった。これからは、自分は自分で生きていこうと思った。

人だけではなく、小さな動物も大切に、大事にされるべきだ。あんな小さな卵が私達みたいになるなんて信じられない。これからも命を大切に生きていきたい。

*自分の生まれる前の事や、お母さんはどんな事を思ったのか、家に帰って聞いてみたいと思った。赤ちゃんは、お腹の中で、誰にも教えてもらっていないのに、工夫して生まれて来たり、誕生の機会を選んで生まれてくる事を初めて知ったので、いい話を聞けたと思う。自分は、「小さな命が誕生して、大きく成長していくのって大変だなあ」と、この学習を通して思った。

《2組》

*「性」というのは少し恥ずかしいことかと思っていたけど、今日の話や映像を見て、そんなことはないんだと分かりました。私たちの親やまたその親たちは痛い思いをして、がんばって私たちを産んでくれたことがよく分かりました。また、何万個のうちの1つが私たちということがわかって、本当にすごいことなんだと思って、親に感謝しようと思いました。

*「命が誕生する」のは凄いことなんだと改めて分かりました。最近、簡単に命を絶つ人もいるので、もっと命について考えたほうがよいと思いました。お母さんとお父さんが産んでくれた命は、大切にしてほしいと思いました。命が誕生するには、とても長い道のりがあるのだと改めて分かりました。

また、感染性は、とても怖いことだとわかりました。なぜなら、命をつなげることができることができなくなるということだからです。今日は勉強になりました。ありがとうございました。h

*3時間勉強して思ったことは、改めて「人の命の大切さ」を学びました。誰かの実験で、「生まれたての赤ちゃんを何もせずに置いておくと、1歳の誕生日が来る前に死んでしまった」ということでした。私はこうして生きているということは、お父さんやお母さんやその他のおじいちゃんやおばあちゃんに愛されて育ててくれたということを知りました。今、生きていることを、お父さんやお母さんに感謝し、恵まれていてよかったと思いました。

《3組》

*赤ちゃんが生まれるためには約10ヶ月もかかることと、生まれるときにとっても大変なのが分かった。命が生まれるときは0.01mmしかなかったのに、こんなにも大きく育つことができ、今まで育ててくれた両親に感謝しなくちゃいけないなと思った。そして、並川さんのお話はとても感情がこもっていて、とても聞きやすかった。いやなことはいやというようにしようと思った。

今ある命を大切にしたいと思います。一人一人が生まれたのは奇跡だということを改めて知りました。

*命はとても大切なものだと思います。いじめられるために生まれてきたわけじゃないし、いじめるために生まれてきたのではないことを思い知りました。だからいじめはダメだし、友達の命も大切にしないといけないなと思いました。“死ね”とかそういう言葉を人に言うてはいけないなと思います。自分と友達を大切にしようと思います。

*ふだん、なにげに生活しているけど、いろんな人から大切にされてきたんだなあと思いました。赤ちゃんが生まれるまでにいろんな苦労をしたり、親切にしてもらったりして、たくさんのお人のやさしさがあって、私たちは生まれてきたんだなあと思いました。命を大切に、これからも何代もつなげていけたらいいなあと思いました。

《4組》

*並川さんのお話を聞いて、生命の誕生についてとてもよく分かりました。生まれるまでに、お腹の中で誰に教えられた訳でもないのに動いたり、判断したりして、「本当にすごいな」と思いました。それと、ほとんどの人が両親に大切に育てられてきたという事が分かりました。生命の誕生は何億分の1の確立でできた奇跡なんだなあと思いました。また、「性」についても知る事ができました。自分の体は、自分でしか守れないということも分かりました。

*赤ちゃんは、成人の人より頭がいいかも知れないと思うくらい、色々な事をしているのがすごいと思った。こんなに低い確率なのに生まれることができたのは、奇跡だと思う。でも、そんな僕たちが、けんかやいじめをしては、だめだと思う。また、受精卵の最初の段階では0.1mmということに驚いた。とても小さな受精卵からどんどん大きく育っていくのはすごいと思った。男には、命の部屋がないのが不思議。

*並川さんの話を聞いて、最初にハートの形の紙をもらった時に驚きましたが、光に透かした時に、赤ちゃんが始めはこんな小さな針の先のような大きさだと知って「すごいな」と思いました。私達にわかりやすく話しをするために、何百枚もハートを作って来てくれたことにすごく驚きました。それに、いろんなカードや骨盤の骨の模型や赤ちゃんのボブ君などを使って、少しでも分かりやすくしようとして下さり、ありがとうございました。とても分かりやすかったです。

並川さんのお話の中で、「みんなはいじめられるためでも、いじめるためでも生まれてきたのではない。」という言葉がとても心に響きました。また、他にも、「みんなは、小さな小さな卵から、いろんな人々の愛情を沢山もらって、育ってきた。」という話をしてくださいました。いろいろな言葉をかけていただき、本当にありがとうございました。